

事務事業名		男女共同参画市民意識啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																								
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目																								
	施策名	06 ともに支え合う地域づくりの推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款																							
	基本事業名	03 男女共同参画の促進		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成7 年度～)		項	目																							
根拠法令				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		01	02																							
所属	部課名	協働まちづくり部男女共同参画室		※全体計画欄の総投入量を記入		01	11																							
	課長名	新沼 晶彦				08	事務事業区分																							
	係名	電話	0192-27-3111			A 政策事業 B 施設整備		C 施設管理 D 補助金等																						
	担当者	鈴木 恭子	内線			278	E 一般(1～4以外)																							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																										
<p>例年実施している事務の内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画「いきいき講座」・「出前講座」の開催:市民や事業所、各種団体等に対し、男女共同参画の意識啓発講座を実施。 ・男女共同参画週間(6/23～29)協賛事業の実施:市立図書館において男女共同参画関連図書展の実施。市広報紙への関連記事の掲載。 ・意識啓発事業:市内各所において、男女共同参画関連パネル展示の実施 ・市広報紙への「いきいき通信」の掲載(年2回):編集は男女共同参画関連団体と共同で実施。市内全世帯に配布。 ・市外で行われる男女共同参画関連イベントへの参加案内(関係団体等への情報提供を含む) ・男女共同参画室ホームページにおける、各種関連イベント等の情報発信(随時) 				<table border="1"> <tr> <td rowspan="10">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
		一般財源																												
	事業費計(A)	0																												
	人件費	正規職員従事人数																												
		延べ業務時間																												
		人件費計(B)	0																											
		トータルコスト(A)+(B)	0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <p>男女共同参画に関する講座の開催、図書展・パネル展等の啓発活動の実施、市民活動団体スキルアップ講座の開催等のほか、男女共同参画情報「いきいき通信」を、おおふなと男女共同参画「うみねこの会」及びひいわて男女共同参画サポーターの会の会員の協力を得ながら、市広報紙に年2回掲載した。また、市ホームページにおいて、関連イベントやセミナー等の情報を掲載し周知した。</p> <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>第5次大船渡市男女共同参画行動計画の策定と連動して、男女共同参画関連講座等の開催、パネル展等の啓発活動の実施、市広報紙への男女共同参画情報「いきいき通信」の掲載、市ホームページによる関連情報の周知等を実施するほか、住民・事業者アンケート調査を実施する。</p>	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 「いきいき講座」の開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 「いきいき通信」の発行部数</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 「いきいき講座」の開催回数	回	イ 「いきいき通信」の発行部数	部	ウ	
名称	単位								
ア 「いきいき講座」の開催回数	回								
イ 「いきいき通信」の発行部数	部								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 市の人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 市の人口	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 市の人口	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
男女共同参画に関心をもってもらう。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 各種講座の延参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 「出前講座」の開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ス 講座を理解できた答えた受講者の割合</td> <td>%</td> </tr> </table>	名称	単位	サ 各種講座の延参加者数	人	シ 「出前講座」の開催回数	回	ス 講座を理解できた答えた受講者の割合	%
名称	単位								
サ 各種講座の延参加者数	人								
シ 「出前講座」の開催回数	回								
ス 講座を理解できた答えた受講者の割合	%								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
市民一人ひとりが男女共同参画意識をもつことで、男女共同参画社会の実現に向けた推進が図られる。									

(2) 総事業費・指標等の推移															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>2年度(実績)</th> <th>3年度(実績)</th> <th>4年度(目標)</th> <th>5年度(目標)</th> <th>6年度(目標)</th> <th>7年度(目標)</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </table>		年度	単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)						
年度	単位			2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)						
投入量	事業費	国庫支出金	千円												
		都道府県支出金	千円			533	533	533							
		地方債	千円												
		その他	千円												
		一般財源	千円	15	0	84	1,258	1,258	1,258						
	事業費計(A)		千円	15	0	84	1,791	1,791							
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1							
		延べ業務時間	時間	200	450	450	450	450							
		人件費計(B)	千円	800	1,800	1,800	1,800	1,800							
		トータルコスト(A)+(B)		千円	815	1,800	1,884	3,591	3,591						
⑤活動指標		ア	回	1	0	1	1	1							
	イ	部	30,000	29,720	30,000	30,000	30,000								
	ウ														
⑥対象指標	カ	人	34,796	34,224	34,128	33,887	33,647								
	キ														
	ク														
⑦成果指標	サ	人	160	152	160	160	160								
	シ	回	—	1	1	1	1								
	ス	%	—	100	100	100	100								

事務事業ID	0359	事務事業名	男女共同参画市民意識啓発事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成7年度において、女性施策の総合的な企画・調整を図る窓口として「女性政策推進室」を設置したのがきっかけである。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
平成29年2月に令和4年度までを計画期間とする「第4次大船渡市男女共同参画行動計画」を策定した。同計画は、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」で規定する「市町村推進計画」を包含して施策の推進を図るものである。
平成29年度の市民意識調査において、社会全体でみた場合に、男性が優遇されていると回答した割合が76.8%と前回調査(平成24年度)より5.1%増加している。また、「男は仕事・女は家庭」という考えにそう思わない人の割合が59.6%となり、前回調査から7.5%増加した。一方で、女性の働き方について、「結婚や出産しても辞めずに仕事を続ける方がよい」が3.2%減少し、「子どもができたらやめ、大きくなったら再就職」が8.5%増加したことから、働き方の多様性が重要になっていると考えられる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
男女共同参画関係団体や大船渡市男女共同参画審議会委員等から、更なる意識啓発に係る取り組みの必要性が求められている。
また、男女共同参画の促進について、関連研修会等への参加において、男性における参画意識の低さも見られることから、男性へ向けた参加促進の必要性も求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 男女共同参画の意識啓発事業は、大船渡市男女共同参画行動計画に基づくもので、当市の男女共同参画社会の構築に資するものであり、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 大船渡市男女共同参画推進条例第14条「市は、市民等の男女共同参画についての理解を促進するために必要な広報活動等を行うよう努めるものとする」との規定に基づき実施するものであり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 本事業は、すべての市民が対象となるものであり、現段階では対象の拡大も縮小もできない。意図については、今後、男女共同参画の「理解」から「より一層の意識の定着」へと拡大の余地はあるが、それに至るまでには時間を要すると思われる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 子育て世代、高齢者、市民活動団体、企業等、対象者や講座のテーマを検討しながら、対象者に合致したテーマや手法で事業を継続することにより、成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 男女共同参画社会の実現には、その主体となる市民や各種団体・企業等への情報提供が不可欠であり、この事業を廃止すると、意識啓発を図る手段を失うことになる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の事業費であり、削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 情報紙の編集や啓発活動等を、男女共同参画関係団体の会員と共同により実施することで人件費の削減に努めているが、大船渡市男女共同参画審議会委員をはじめ、各方面から意識啓発がまだまだ不足しているとの指摘があり、これ以上の削減は難しい状況にある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 各種講座やパネル展示等は参加料無料としている。受益者負担を求めると、意識啓発の普及に支障を来すことから、材料費等特別な費用が必要でない限り、無料が望ましいと考える。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	対象者のニーズや社会情勢に即した、より適切なテーマの下で講座・図書展等を実施することにより、成果の向上を図る。	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	固定的な性別役割分担意識や無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)に係る意識改革はもとより、新型コロナウイルス感染症の影響を始めたとする社会情勢の変化や、人口減少・少子高齢化等の地域課題に応じた、各種課題解決に資する啓発事業を実施する必要がある。 また、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の両立)の促進のため、地域や企業等へ働きかけを行い、広く意識啓発や情報発信を行う必要がある。																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		●		維持低下			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上維持		●																					
	維持低下			×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	我が国におけるジェンダーギャップ指数が世界的に低位にあり、当市においても同様の状況にある中で、本事業の意義は大きいと考える。意識啓発を行うそれぞれの取組について、実効性があるものとするため、ターゲット、手法等を適切に選択して実施する必要がある。